



■商いとインターフェイス

敷地境界線という見えない境界線上に生まれる小さな公共性です。今までは敷地の中だけで完結していた用途が敷地境界線を越えて混ざり合います。例えばオトナリの花屋の風景を楽しみながらカフェで休憩するといったように「1+1>2」となるように敷地境界線を超え相互に価値を高め合い水辺へと広がります。



■身体とのインターフェイス

ヒューマンスケールの風の道です。間の空間はそれぞれの気配があふれ出す街の小さな余白のような場所です。横丁のような小さな賑わいが生まれ、そこから溢れる音や匂いに誘い込まれます。



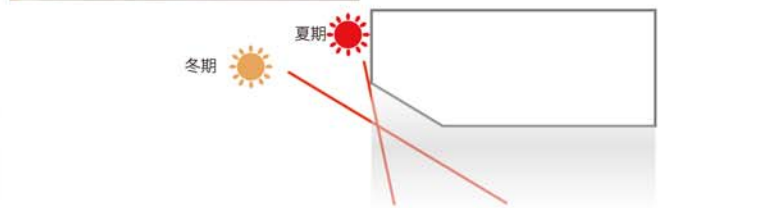
■自然とのインターフェイス

都市の中に新たな風や光の流れを生み出します。大きな軒下のような風の道は季節ごとの日射を考慮し、暖房負荷や冷房負荷を減らしつつ、空調に頼りがちな都心部に快適な外部空間を提供してくれます。空に少し近いダイナミックなテラスは都市の喧騒から逃れ、心地よい風を感じながらひと時を過ごします。



■文化とのインターフェイス

道頓堀界隈には大阪の文化である劇場がたくさんあります。ここではストリートと桟敷が融合したような水辺の劇場です。普段は水辺へのアプローチとなり親水性を作り出します。イベントが行われると様相を変え水辺の舞台が生まれます。



冬期 ☀️ 夏期 ☀️